令和６年度　ふれあいファミリアミーティング報告書　（半縄区）

令和６年１０月１８日（金）１９時００分～　　会場：半縄児童館　　参加者：１８人

行政区出席者◆落合区長ほか

町側出席者◆小野澤町長、沼田副町長、佐藤教育長、小川総務部長、後藤民生部長、今井環境経済部長、大貫建設部長、土肥危機管理室長
榎本政策秘書課長、政策秘書課秘書広報班（小関、薄）

	意見・要望要旨	当日の回答要旨	担当課	処理状況など
1	体の不自由な方や独居老人に対してケアマネージャーがついているが、町には担当がいないため相模原市から来ていると聞いた。町のケアマネージャーの配置の考えについて伺いたい。	特別養護老人ホーム等では、ケアマネージャーの配置基準が定員100人までは1人が必要と定められており、町内施設はすべて基準をクリアしています。このほか在宅高齢者への介護サービスについては、居宅ケアマネージャーが利用者40人に対し1人付くこととなっており、本町にある11事業所には20人居宅ケアマネがいますが、不足が生じた場合には近隣市と連携し対応しています。 なお、本町では福祉職の確保のため、ケアマネージャーを含む介護職の資格取得や研修費の助成、就職復職支援など、人材確保に努めております。（町長）	高齢介護課	同左
2	昨今凶悪犯罪が増えていると聞きます。町でも発生する可能性があるため、町では厚木警察署や近隣市町村と連携した取組みなど考えているのでしょうか。	厚木警察署長にパトロールの強化を要請したところ、既に神奈川県、千葉県、埼玉県などによる対策会議を開き、パトロールの強化しているとのことでした。町でもどのような対策ができるか検討していますが、皆さんからも良いアイディアがあれば政策として立ち上げたいと思います。（町長）	住民協働課	改めて厚木警察にパトロールの強化を要請しました。また、町においては、青パトの巡回を住宅街中心に実施しているほか、広報あいかわ12月号への記事掲載や自治会経由でチラシを回覧し注意を呼び掛けるなど、対策に努めているところです。
3	子どもたちは県外に働きに出ている者が多い。半縄地区でも子どもが外に出て親だけが住んでいるという家庭も多い。こうした若者が町に戻ってきてもらえるような職を得る場、近隣へ通勤しやすい環境が整っていれば親元に住むことができると思うが、町ではどのように考えているのか。	本町では税の軽減や雇用奨励金の交付を受けることができる企業誘致条例を定めており、各事業所ではこれを活用した新工場の増設や事業拡大が進んでいます。先日も、工業団地の中に8つ目の大型物流センターができました。また、既に稼働している5つの物流センターでは製造業があった時と比較して正規職員が224人増加していますので、あと3箇所稼働すれば雇用はさらに増えるものと考えています。引き続き、若い世代がUターンし、地域で働くことができるよう、様々な企業支援策に努めるほか、公共交通についても通学費がかかるとの話も伺っていますので、できるところから取組みを進めてまいります。（町長）	政策秘書課	同左

	意見・要望要旨	当日の回答要旨	担当課	処理状況など
4	愛川町は自然が豊かで観光資源が豊富です。近年では低山ハイクが流行しており、八菅山や仏果山は登山客も多く見受けられますし、首都圏自然歩道にも位置付けられていますので、ぜひ魅力ある資源として利用できたらと思いますが、町の考えを伺いたい。	本町ではハイキング・登山コースを12箇所設定しています。八菅山につきましては令和2年度に既存ルートを延ばしたコースを整備したところですので、ぜひ楽しんで散策していただければと思います。（環境経済部長）	商工観光課	同左
5	坂本区になりますが、もともとは神社があった共有地があります。町道に面しており、年1回位は町から枝を伐採してほしいと話があったので、公図を調べたところ町道と共有林の境目が不明確となっていました。何度か境界確認のため道路課に聞いたのですが、町では境界査定はしていないとの回答でした。町道管理者として町は境界を把握していなければならないと思うのですが、どう考えているのでしょうか。	境界査定をしていない場所は公図などを調べた中で、概ねの境界線を出す場合もあります。町道と共有地の境界については、改めて道路課において調査をさせていただきたいと思います。（建設部長） お話の場所は、赤道と舗装された道があり、整備された道路については、境界の資料も道路課にあるので概ねの場所は示すことができると思います。公図上の道路については、町内に数多くあるため、全体の査定を町の公費で行うと膨大な費用や時間がかかります。こうしたことから町では道路改良と合わせて順次測量などを行っています。神社の関係については、相談を受けた職員に再度確認し、公図資料や整備されている道路図面などを確認し改めて回答いたします。（環境経済部長）	道路課	同左 ご指摘の箇所につきましては、11月28日に区長さんと関係者2名の方と現地立ち合いを行い、今後の対応について協議をさせていただきました。
6	以前も話をしたが、水路橋下の信号機はボタンを押しても青に変わるまでの時間が長い。町からは、警察に聞いたところ、他の信号と連動しているので難しいとの回答でした。改めて伝えていただきたい。	以前警察に問い合わせた際には、他の信号機と連動しているため変更は困難とのことでしたが、数年経っていますので改めて警察に現場を確認してもらうようお伝えします。（町長）	住民協働課	厚木警察署には11月12日に再度要望したところですが、当該交差点の先にある桜台交差点の信号待ちで車両が多く並ぶため、交通の流れを円滑にするために桜台交差点の信号機と連動していることから、現状、変更は難しいとの回答でした。
7	桜台バス停には以前椅子があったが、撤去されてしまった。設置基準があるのかわからないが、他のバス停には屋根や椅子があるので桜台にも設置してほしい。	桜台バス停は県道の歩道上にあって、歩道の幅の関係もありますので、検討し書面でも回答させていただきます。（総務部長）	住民協働課 （政策秘書課）	桜台バス停への上屋やベンチ設置については、歩道幅員等の道路条件は満たしているものの、周辺土地地権者の合意やバス事業者との費用負担の調整等が必要となることから、引き続き検討してまいります。
8	半縄区を走る町内循環バスは終点が町役場になっているため、アルプスあたりまで走らせてほしい。	町内循環バスについては、今後、地域公共交通協議会の中で新たな見直しを行ってまいります。運行時間やバスの台数も限りがあり要望も様々ですが、今いただいたお話も含め、できるだけご意見に沿えるよう検討を進めてまいります。（町長）	政策秘書課	同左